



荅北町議会だより

131

2024年(令和6年)

10/21 発行

あなたと議会のかけ橋に

きずな



主な内容

- 定例会・全員協議会…………… 2～5
- 委員会報告…………… 6～7
- 要望活動報告…………… 8
- 一般質問・特別委員会…………… 9～13

発行 荅北町議会 TEL35-3337
編集 議会広報特別委員会

志岐八幡宮の子供神輿

こんなことが決まりました!!

令和6年 第4回議会定例会 開催日：9月9日～9月18日

■条例制定（議員発議）・改正等について

議案番号等	事 件 名	備 考	結果
議案第47号	公益的法人等への苓北町職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について	非常勤の職員についても、公益的法人等の団体に派遣を可能とするもの	◎
議案第48号	苓北町税条例の一部を改正する条例について	寄附金税額控除の対象追加（新たな公益信託）に伴うもの	◎
議案第49号	苓北町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	施行期日である令和6年12月2日以降は、被保険者証が発行されなくなることに伴う一部改正	◎
議案第50号	苓北町下水道条例の一部を改正する条例について	簡便な大腸菌の培養技術が確立されたことを踏まえ、「大腸菌群」を「大腸菌数」に見直し 令和7年4月1日施行	◎
議案第60号	財産の取得について	苓北町堆肥センター作業車両更新 ユニック車(2t) 8,103,720円 福岡市 いすゞ自動車九州株式会社	◎
議案第61号	財産の取得について	苓北町堆肥センター作業車両更新 ホイルローダ 9,798,800円 筑紫野市 キャタピラー九州株式会社	◎
議案第62号	熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	施行期日である令和6年12月2日以降は、被保険者証が発行されなくなることに伴う一部変更	◎
発議第5号	苓北町議会議員の期末手当の特例に関する条例の制定について	物価高騰等を考慮し、令和6年12月期の議会議員の期末手当を削減する 提出者 浜口雅英議員	×
発議第6号	苓北町学校給食費の無償化に関する条例の制定について	物価高騰等を考慮し、保護者の負担軽減（学校給食費の無償化）を図り、子育て支援を推進する 令和6年10月1日施行 提出者 浜口雅英議員	×

【結果の表示について】◎全会一致で可決 ×賛成少数で否決（賛否表はP3に掲示）

■令和6年度一般会計・特別会計補正予算

(単位：千円)

議案番号	事 件 名	補正前の額	補正額	補正後の額	備 考	結果
承認第7号	専決第8号 一般会計補正予算(第2号)	5,433,203	27,824	5,461,027	物価高騰対策支援給付金10,500千円の増等	◎
議案第51号	一般会計補正予算(第3号)	5,461,027	209,683	5,670,710	本年6月20.21日の大雨による河川等災害復旧費23,239千円の増等	◎
議案第52号	坂瀬川財産区特別会計補正予算(第1号)	2,182	△104	2,078	前年度繰越金確定等による	◎
議案第53号	都呂々財産区特別会計補正予算(第1号)	67,029	10,288	77,317	熊本県林業公社と分取造林契約を締結している土地のうち、2件について、風力発電事業用地に含まれたことで、その契約を解除することに伴う補償金9,880千円の増等	◎
議案第54号	国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	1,013,065	24,778	1,037,843	前年度繰越金確定等による	◎
議案第55号	介護保険特別会計補正予算(第1号)	1,079,287	55,340	1,134,627	前年度繰越金確定等による	◎
議案第56号	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	149,102	434	149,536	前年度繰越金確定等による	◎
議案第57号	宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)	12,588	326	12,914	前年度繰越金等確定による	◎

【結果の表示について】◎全会一致で可決（承認）

■令和6年度一般会計・特別会計補正予算

(単位：千円)

議案番号	事 件 名	科目	補正前の額	補正額	補正後の額	備 考	結果
議案第58号	水道事業会計補正予算(第2号)	収益的収入	194,550	218	194,768	他会計補助金	◎
		収益的支出	285,732	1,218	286,950	原水及び浄水費他	
		資本的収入	28,290	259	28,549	工事負担金	
		資本的支出	49,170	2,600	51,770	施設整備費	
議案第59号	下水道事業会計補正予算(第2号)	収益的収入	297,500	△7,491	290,009	他会計補助金	◎
		収益的支出	510,900	1,691	512,591	処理場費・消費税他	
		資本的収入	329,279	7,868	337,147	他会計補助金	
		資本的支出	329,414	3,504	332,918	資産購入費(エアコン)他	

【結果の表示について】◎全会一致で可決

令和5年度決算審査特別委員会 委員長 山口 利生

令和6年第4回苓北町議会定例会において令和5年度の決算の認定が議案となり、議長と議選監査委員を除く8議員を委員とする特別委員会に審査を付託、監査委員に同席を求め、9月12・13・17日の3日間、開催されました。

ここでは、令和5年度に執行された予算を予算案審査時には見落とし点や、実際の予算執行における疑問点等に、意見や質疑応答がなされました。その結果として、一般会計、特別会計の全てを認定することとなりました。

審査の結果
 苓北町の令和5年度一般会計歳入歳出決算、令和5年度坂瀬川財産区特別会計歳入歳出決算、令和5年度都呂々財産区特別会計歳入歳出決算、令和5年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算、令和5年度介護保険特別会計歳入歳出決算、令和5年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算、令和5年度水道特別会計歳入歳出決算、令和5年度農業集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算、令

和5年度特定地域生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算、令和5年度宅地造成事業特別会計歳入歳出決算、以上11会計、すべて「認定すべきもの」と決定しました。

※次の事項について執行部に対し要望することを決定しました。

一般会計

歳入について

- ①ふるさとづくり寄附金による収入増に引き続き努められたい。
- ②町税等の収入未済額については、さらなる収入努力に努められたい。

歳出について

- ①脱炭素社会に向けて、具体的に取り組まれない。
- ②人口減少対策の取組みに努められたい。
- ③企業誘致については、引き続き努力されたい。
- ④町有地・施設の管理体制の強化に努められたい。

宅地造成事業特別会計

- ①販売促進に努力されたい。

■歳入歳出決算認定・報告

議案番号等	事 件 名	結果
認定第1号	令和5年度一般会計歳入歳出決算の認定について	○
認定第2号	令和5年度坂瀬川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
認定第3号	令和5年度都呂々財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
認定第4号	令和5年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
認定第5号	令和5年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
認定第6号	令和5年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
認定第7号	令和5年度水道特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
認定第8号	令和5年度下水道特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
認定第9号	令和5年度農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
認定第10号	令和5年度特定地域生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
認定第11号	令和5年度宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
報告第5号	令和5年度決算における健全化判断比率について	-

【結果の表示について】◎全会一致で可決 ○賛成多数で可決 -報告につき、採決なし（賛否表は下欄に掲示）

賛否表（ ○ 賛成 ・ ● 反対 議長（野崎）は採決に加わらない）

議案番号等	事 件 名	結果	表採決		田嶋	山口	廣田	松本	浜口	田崎	倉田	錦戸	高戸	野崎
			賛成	反対										
発議第5号	苓北町議会議員の期末手当の特例に関する条例の制定について	×	3	6	●	●	●	○	○	○	●	●	●	-
発議第6号	苓北町学校給食費の無償化に関する条例の制定について	×	3	6	●	●	○	○	○	●	●	●	●	-
認定第1号	令和5年度一般会計歳入歳出決算の認定について	○	7	2	○	○	○	●	●	○	○	○	○	-

特別会計

※臨時財政対策債とは、国から交付される地方交付税の不足分を補うための特例的な町債です。用途は自由で、元利償還金は翌年度以降、国が地方交付税で全額措置を行うものです。

歳出決算額 (単位：千円)	
項目	令和5年度
坂瀬川財産区	919
都呂々財産区	4,875
国民健康保険	1,011,247
介護保険	1,052,468
後期高齢者医療	127,079
水道	207,401
下水道	376,002
農業集落排水	22,374
特定地域排水処理事業	50,352
宅地造成事業	3,356

注：千円未満は、原則、四捨五入し表示

積立基金の状況 (単位：千円)	
基金名	令和6年5月末現在
一般会計基金合計	2,313,792
特別会計基金合計	176,733
基金合計	2,490,525

注：千円未満は、原則、四捨五入し表示

町債残高の状況 (単位：千円)	
町債名	令和6年3月末現在
一般会計町債合計	5,974,991
特別会計町債合計	1,926,301
町債合計	7,901,292
(うち臨時財政対策債)	(2,308,057)

注：千円未満は、原則、四捨五入し表示

情報は、5年度予算の審議時これらの内容に不可解な点があり時期尚早として反対した。これの実績は予算審議時に説明された万能システムではなかった。予算策定、執行には現状等をよく把握し税金を支出すべき。よって、令和5年度決算認定に反対。

議員手当10,191,380円等があり、委託料では総計185,968,734円が支出。

情報化推進費予算は、23,701,000円が計上され、229,525,758円が支出済み。これらの内訳は消耗品費57,448円。職員給与16,936,800円。職員手当10,191,380円等があり、委託料では総計185,968,734円が支出。

原案に反対討論

浜口議員

令和5年度一般会計決算の認定に対する討論

■請願・陳情等文書の取り扱い結果

受理年月日/番号	件名	請願(陳情)者	結果
R6.8.5 陳情第1号	現行健康保険証の存続を求める陳情書	熊本市中央区神水 1-14-41 熊本県社会保険推進協議会 会長 鳥飼 香代子	議会運営委員会に諮り、「議員配布」とした。
R5.8.23 陳情第2号	母(王乖彦)が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情	東京都荒川区東日暮里 6-54-4 張 一文	議会運営委員会に諮り、「議員配布」とした。

全員協議会

令和6年9月10日(火)

一・苓北・天草風力発電所の進捗状況について

苓北風力合同会社から、林道金井の森線の災害復旧状況と、風力発電事業工事の進捗状況について説明を受けた。

金井の森線の仮復旧は8月4日に完了し、工事の進捗率は約17%で概ね予定通りに進行していると報告を受けた。

二・あまくさ苓北観光協会の組織強化(法人化)の進捗状況について

組織強化(法人化)の背景とこれまでの経緯、意見の集約と方針の決定、法人設立時の事務体制、法人設立後の事業内容、新法人への移行スケジュールについて、商工観光課から説明を受けた。

なお、令和6年12月1日に(仮称)一般社団法人天草れいほく観光協会が設立予定である。

三・天草広域連合新ごみ処理施設の現状について

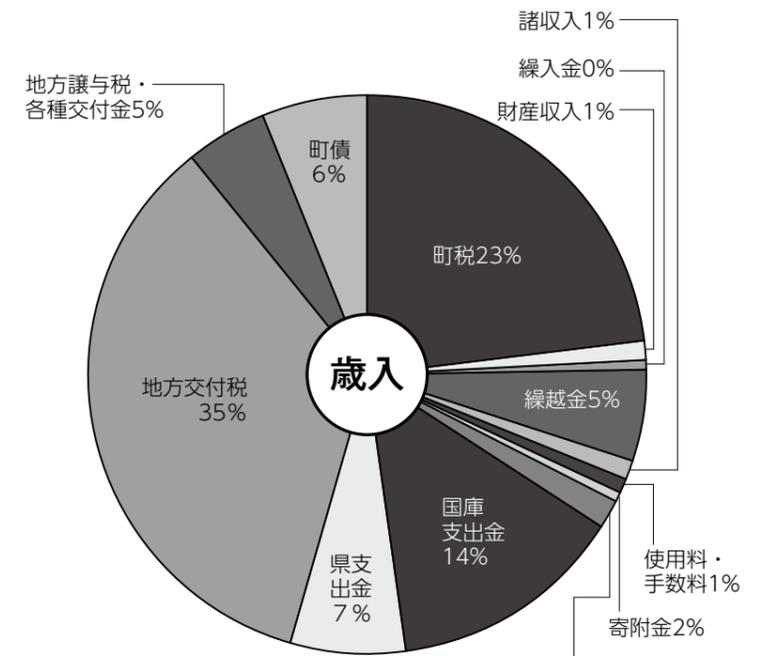
天草広域連合新ごみ処理施設整備運営事業のこれまでの経緯と、現状についてを山崎町長(副連合長)から説明を受けた。

令和5年度一般会計・特別会計決算 認定

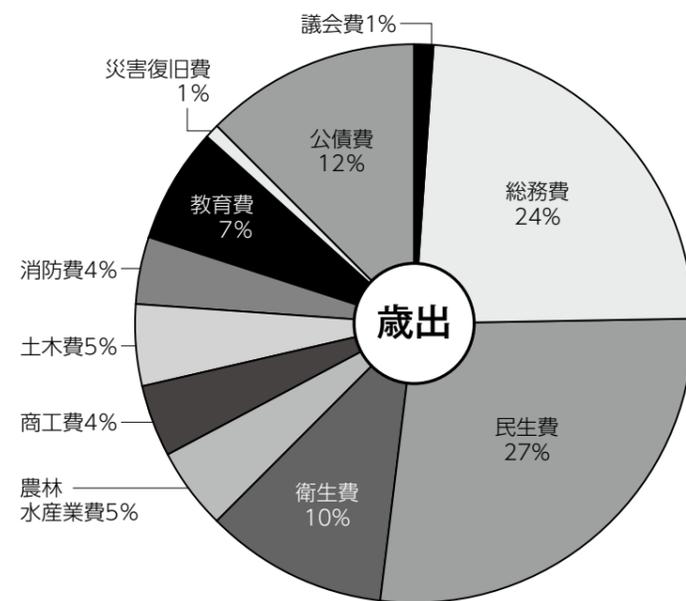
一般会計

歳入 (単位：千円)		
区分・率	項目	令和5年度
自主財源	町税	1,351,932
	財産収入	62,189
	繰入金	30,178
	繰越金	317,251
	諸収入	63,778
	使用料・手数料	49,259
	分担金・負担金	21,442
34.2%	寄附金	96,753
依存財源	国庫支出金	797,043
	県支出金	385,850
	地方交付税	2,022,529
	その他交付税他	272,877
	65.8%	町債
100%	合計	5,821,981

注：数値は、千円未満を四捨五入し表示



※円グラフにおける小数点以下の数字は調整されています。



※円グラフにおける小数点以下の数字は調整されています。

歳出 (単位：千円)

項目	令和5年度
議会費	64,072
総務費	1,321,696
民生費	1,537,180
衛生費	581,033
農林水産業費	272,356
商工費	230,799
土木費	260,641
消防費	228,255
教育費	372,592
災害復旧費	46,274
公債費	686,823
合計	5,601,721

注：数値は、千円未満を四捨五入し表示

建設経済環境常任委員会調査報告書

建設経済環境常任委員会
委員長 倉田 明

1. 調査期日 令和6年7月10日（水）
2. 出席委員 倉田明委員長、廣田幸英副委員長、田嶋健司委員、松本良人委員、田崎稔委員
3. 委員以外の出席 野崎幸洋議長
4. 所管事務についての調査における意見・要望事項等

①坂瀬川浦区の山(宮原橋付近)

法面にコンクリート間知ブロック(長さ約20m、高さ約4m)に数ヶ所ひび割れ等は確認。原因が山が動いているか否か、判断は容易ではない。今後は関係機関に調査を委ね、注視観察が必要と思われる。

②町道唐人岩線「町道の状況」

山斜面が幅約4m、高さ約5m程が路上に崩れ(土砂数トン)、下斜面に廃土処理され通行可能だった。周辺は再崩落の恐れがあり、早期の改修が求められる。

③漁港・港湾「向路防波堤及び港内の状況(放置船含む)」

現在、防波堤工事は当初計画通りに進んでいる。志岐漁港施設内に、外部工事から出た土砂他等が積まれ、雑草等も繁茂し、安全面から敷地内に注意喚起の表示板設置が必要と思われる。土砂等は適宜処理されるよう検討頂きたい。

放置船は、坂瀬川漁港(小路)11隻(内1隻沈没)、志岐漁港12隻、富岡漁港(西港)5隻、富岡汐入港7隻程が見られ、合計35隻。施設内の一部に漁網等も見受けられる。放置船、沈没船は、「漁港及び漁場の整備に関する法律」に基づき、厳正なる対応が求められる。

上津深江港海岸保全施設整備事業(天草慈恵病院下他)は完成から約50年が経過し、長寿命化計画策定時の点検結果に基づき、令和6年度から令和11年度まで改修が計画されている。

都呂々港(港湾)高潮対策は、現在、幅約4m、高さ約1.5mの「潮止め板」で浸水対策をとられている。緊急時等に「潮止め板」を取り扱う人に危険等が及ぶため、改修し、人、車が従来通り通れる工事の提案があった。

④苓北町堆肥センター「プラント屋根の破損状況ほか」

プラントの屋根大半が点々と破損している。今後、全体計画が必要ではないかと思われる。

⑤富岡浄化センター「施設の現状と今後の更新等の方向性」

平成12年1月供用が開始され24年が経過し、建物等に錆びや傷み等があり、一部の倉庫に雨漏りが見受けられる。今後、長期的な維持管理が求められる。

汚泥処理は、町堆肥センターに年間262トン搬入、55トンが福岡に運搬されている。可能な限り堆肥センターに搬入されることが望ましいと思われる。

⑥サテライトオフィス(旧苓北町郷土資料館)周辺「周辺道路の状況」

オフィス前の町道舗装は、ひび割れ、道路を横断する側溝に傷み等が見られる。事故防止、安全面から優先度に従い対応いただきたい。

総務文教厚生常任委員会調査報告書

総務文教厚生常任委員
委員長 山口 利生

1. 調査日時 令和6年7月25日（木）
2. 出席委員 山口利生委員長、錦戸俊春副委員長、浜口雅英委員、高戸幸雄委員
3. 委員以外の出席 野崎幸洋議長
4. 調査の内容と結果の概要及び委員会意見、要望

(1)九州電力(株)苓北発電所の現況調査

宮田所長から苓北火力発電所の現況について説明を受け、委員との意見交換を行った。

委員から、①苓北火力発電所の存続は町全体に大きな影響がある。運転終了期間はどのようになっているのか、②白木尾沖に灰捨場の建設計画があったがどのように考えているのか、③アンモニア混焼実施に向けた大規模施設改修は可能なのか、等の質問があり、宮田所長から次のような回答があった。

①苓北火力発電所の運転終了期間は決まっていない。20年後の電力需要がどのようになっているのか国全体での決定事項となり明確に回答できない。終了時期が決まれば苓北町との事前協議を行う。

②灰捨て場は現在8割程度埋めているが、石炭灰の有効活用を推進し現在の面積で運用していく予定であり、新たな灰捨場の建設は考えていない。③アンモニア混焼を導入する場合は、貯蔵タンクの新設やボイラーの配管工事、バーナーの改修工事等大規模改修を行う必要がある。

当委員会から、脱炭素社会の実現に向けた取組が世界的に加速されており、苓北町でも昨年11月、2050年度までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「苓北町脱炭素宣言」を行い、今後脱炭素社会実現に向けた取組を推進していく予定である。苓北火力発電所は、苓北町の財政と雇用を支える基幹産業であるとともに町の重要なパートナー的存在であり、町も積極的に支援を行うので脱炭素社会実現のための施策を推進していただくよう要請しました。

(2)苓北町立小学校の統合についての状況調査

事務局から、小学校の学校規模の適正化等についてのこれまでの経緯及び義務教育学校の内容の説明を受け、令和6年7月18日に開催した第1回学校教育審議会において、小学校統廃合後の学校形態については「義務教育学校」とし、学校の位置については継続審議とすることが決定された旨の報告がありました。

委員から、①学校の位置についての検討案の内容状況、②小学校統廃合に関する方針案の保護者・住民アンケート調査の実施、③義務教育学校校舎新築には20億円以上の予算が必要となるが財政的に無理が生じないのか等の質疑がありました。

事務局から、①義務教育学校の形態としては、施設一体型、隣接型、分離型があり、苓北中学校周辺、志岐小学校周辺、農村運動広場周辺を候補として提案しており、志岐小学校の活用も含め校舎建設費の算定等を行っているとの説明がありました。

当委員会から、小学校の統合問題については町民の大きな関心事であり、校舎新設等にあたっては多額の財源が必要になるため、議会への適宜適切な説明を行うとともに急速に進む少子化の現状を踏まえ、早急に学校教育審議会答申を町長に提出されるよう教育委員会に求めました。

関係国会議員への要望活動と視察研修

期日：8月1日(木)・8月2日(金)

1. 視察日及び研修先並びに目的

・「東京臨海広域防災公園」

8月1日

東京臨海広域防災公園は、首都直下地震等の大規模な災害発生時に、現地における被災情報の取りまとめや災害応急対策の調整を行う「緊急災害現地対策本部」等がおかれる支援基地と同時に、防災拠点施設となっている。また、地震防災に関する知識を習得するための体験学習施設としても整備がされている。本公園を視察研修することにより、防災意識の向上に寄与することを目的とする。

2. 要望先及び要望案件

◎要望先

・「衆議員会館」8月2日
松村防災担当大臣（要望書提出）
藤木参議院議員（要望書提出）

馬場参議院議員（要望書提出・面談）
金子衆議院議員（要望書提出）

・「農林水産大臣室」

坂本農林水産大臣（要望書提出・面談）

◎要望案件

1. 「食料・農業・農村政策」
2. 「国土強靱化施策」
3. 「過疎地域振興施策」
4. 「半島振興施策」

右記要望案件について坂本農林水産大臣に説明し、真摯に耳を傾けていただきました。

3. 参加者

山崎町長、野崎議長、高戸副議長、田嶋議員、山口議員、松本議員、田崎議員、倉田議員、錦戸議員（随行）松本議会事務局長、武井総務課長補佐
※瀨石苓北町農協組合長

一般質問

問 苓北町就学支援金制度の充実について

① 高校入学準備金補助金の見直しは出来ないか。

現行で、天草拓心高校マリン校舎入学者のみ3万円が支給されている。高校入学者全員へ、入学祝金として、同額の祝金を支給することが出来ないか。将来の進路を決め、勉学に励まれている。同じ町民であり、公平公正に欠けるのではないかと思う。

町長 高校が地域に与える影響は大きく、地域人材育成や地域振興など、高校が存在し活性化することにより、生徒や若者の意欲や能力、肯定感が醸成され、地域の活力が増していく。今後、多様性の高い魅力ある地域の高校となることを願っている。天草拓心高校マリン校舎の入学者を確保し、活性化を図る制度と考えている。

② 学費軽減施策として、補助金制度に出来ないか。

苓北町奨学金貸付金を、学費軽減補助金（仮称）として、高校在学期間（3年間）は、奨学金貸付金程度の金額を支給することは出来ないかと思う。

今後、少子高齢化・人口減少が進む中、魅力ある町づくりにより、苓北町子育て支援策として考えられないか。

町長 学費軽減補助金として支給する場合、多額の財政措置が伴う。ふ



錦戸 俊 春 議員

問 農作物の鳥獣被害防止施策について

るさと納税寄附金を充当するとしても、事業実施に大変厳しいものがあると考えられる。修学支援には、高等学校等就学支援制度が、国公私立に問わず対象となる。中学での進路選択の際、保護者や生徒に対し、周知を図るよう努めている。

防護施策として、電気柵の補助が施行されているが、近年の鳥獣被害は、年々増加傾向にある。電気柵では電流は流れていても、地面が乾燥状態の場合、アースが効かない状況にある。防護柵の補助は出来ないか。県では、団体で防護柵を施工する場合は、現物給付され、受益者が施行することで、補助がある。また、近隣の市では、防護柵補助制度もある。町独自で同等の対応が出来ないか。

町長 国の鳥獣被害防止対策総合事業の補助要件は、原則、受益戸数3戸以上の共同要件があるが、地形的理由から連続しない柵でも、整備地区全体として受益戸数3戸以上であれば整備可能となっている。国からの補助がある本事業の活用を推進している。

質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載しています。



坂本哲志農林水産大臣への要望活動(写真中央が坂本大臣)



馬場成志参議院議員への要望活動(写真中央が馬場参議院議員)



金子恭之衆議院議員国会事務所での要望活動



東京臨海広域防災公園を視察し、防災体験を行った。

- ① 県道都呂々宮地岳線法面被災について
- ② 畜産業に対し引き続きの支援策
- ③ 国民健康保険税率改正について



高戸 幸 雄 議員

問1 都呂々ダム上流部の県道法面が被災している箇所がある。応急対策として、ビニールシートで被覆されているが、見るに堪えない悲惨な状況である。原因については種々考えられるが、竣工後の経年も一つと

思う。都呂々木場地区で暮らす住民にとって本路線は、最重要路線である。県道ではあるが、その機能を維持するため町としても最大限の努力と対策を図る必要がある。現在の熊本県との取り組み状況は。

町長 被災箇所法面は、施工から長年が経過し劣化が進んでいる。熊本県に対策工を要望している。今後、詳細調査に取り組みとの回答であった。町として早急な対策工事の実現向けに引き続き要望活動を行っていく。

問2 昨年度は、コロナ関連の交付金を充当して各種補事業が実施され各産業も一定の成果があった。畜産業は、今年度も、飼料及び生産資材の価格高騰が引き続き依然として厳しい状況である。水田活用に伴うWCS用稲の栽培については、粗飼料を必要とする畜産農家と稲作栽培農家の経営安定をマッチングした取り組みであり、水田の荒廃地対策としても有効である。引き続きの支援を求め

町長 肉用子牛生産者補助金制度等の活用を推進しながら、今後農畜産経営の事情や農畜産業団体の意向を調査し経営の安定が図られる取り組みについて、さらに研究していく考えである。

再問 昨年も今回同様の質問をした。政策的経費として各種補助金の継続を求める。今、農畜産業を守るという苓北町の本気度が試されようとしている、町長の姿勢・判断に期待をもちたい。

問3 来年度から、国保税算定の医療費分・資産割10%がなくなる。私は、国保制度は加入者全体の相互扶助から成り立つとの理論を持ち資産割廃止については検討を願う立場であった。県全体が標準的な賦課方式に移行とするならやむを得ない。国民健康保険制度が恒久的にかつ健全な資金計画によって運営されることを望む。

町長 平成30年度国保制度改革によって国保は、財政運営の健全化が図られてきた。加入者に対する税率改正の周知については、広報及び個別には、納税通知書により周知を行う。

①南海トラフ地震への対応は
②相生ペーロン祭へ町選手団派遣を
③県立「苓北青少年海の家」(仮称)誘致は



明 倉田 議員

問① 去る8月8日宮崎県南部で震度6弱、マグニチュード7.1推定の地震は苓北町では震度3だったが、評価検討委員会は「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」を今回初めて発表された。

マグニチュード9クラスの地震が30年以内に起きる確率は、70から80%と算出し、九州から関東の太平洋沿岸で政府は2012年最大で32万3千人死亡する想定を公表している。

苓北町は震度4、最短期間で地震発生から約2時間後に3mの津波が到達の恐れがあるとされているが、町内でその対象住宅ほどの程度なのか。

町長 町のハザードマップに掲載されているが出来町区19戸、八区3戸、紺屋町3戸、松原区2戸の計27戸。

再質 対象地区の方は知っておられると思うが、改めて情報等提供を。また、能登半島地震で亡くなられた8割の方は家屋の倒壊と言われている。住宅の耐震改修(補助金の拡充)の更なる取組みを。

問② 苓北のペーロン伝来は、1673年長崎からと町史に記してあるが、ペーロンが近年本格的に復活したのは、平成元年で今年の第36回大会も7月に終えたところだ。

この間、姉妹都市であります唐津市や長崎市などとペーロンを通して交

流を深め、また、平成22年度からは兵庫県相生市のペーロン祭には、苓北町当局及び、町ペーロン協会関係者など交流観戦を致し、市長・町長など関係各位も行き来いただき、今年には相生市と交流15周年を迎えられた。

来年度、苓北町選手団派遣で、更にペーロン文化の伝承と保存、併せて地域間交流が深まり、活性化の観点から派遣できないか、町長の見解を伺いたい。

町長 私も、相互交流の継続的な実施による交流人口拡大の期待を抱き、観戦をさせていただきました。

強豪チームと競漕し、町のペーロン技術の向上と地域間交流の期待から、町選手団派遣ができるよう協会と準備を進めたい。

問③ 集団宿泊や野外体験活動などを通して青少年の心身の健全育成を図る目的で、県内には国立、県立青少年の家が設置されている。

現在、町内小学校は統合へ向け協議されているが、統合の場合、富小を改修し「県立苓北青少年海の家」を誘致される考えはないか。

町長 校舎の健全度も高く、閉校の場合、跡地利用検討委員会の議論を踏まえ、選択肢の一つとして捉えさせていただきます。

問① 今年5月18日に唐津市で開催された姉妹都市締結30周年記念式典、その際を、ふるさと納税の取り組みの技術・知見・経験を教示いただき絶対の機会と捉えるべきだったのでは

※唐津市のふるさと納税の額は、令和4年度・5年度ともに50億円程度を推移している。

町長 唐津市を訪問した際には、改めて今後の両市町の交流のあり方などについて懇談を行った。

ふるさと納税の取り組みについては、早速、担当者から連絡を取り、唐津市の取り組みや知見等について、情報提供いただいた。今後としては、寄附額が高額となる「定期便」の返礼品開発を行うこととしている。一方、企業版ふるさと納税についても企業向けPRチラシを作成し、福岡都市圏の企業をターゲットとしたプロモーション活動を行うこととしている。

※参考資料
令和5年度ふるさと納税自治体ごとの件数と金額一覧抜粋【総務省発表】

唐津市	324,481件
天草市	54億0,040万5千円
135,905件	
21億1,159万9千円	
苓北町	5,720件
9,365万9千円	



英 幸 廣田 議員

問② 現在の各地区における消防団における班の再編成を含め、消防団の活動支援の充実、改善が必要であると思われるが、今後どのように進めていくおつもりか

町長 今後、消防団の班の再編及び消防団の活動支援について、消防団の実情を徴取しながら、消防団役員会等で協議・検討を行って参る。

質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載しています。

安心して住めるまちづくり

(一)戦争のない世界
小さな取り組みから

浜口 今年には終戦から79年が経過し、毎年8月には各地で先の大戦で犠牲となられた310万人の追悼行事が行われている。

戦争の惨禍を二度と繰り返してはならない。しかし、世界では今なお、戦争、紛争の絶える間はなく2020年現在56件に上りこの事によって小さな子供から高齢者まで数多くの戦争犠牲者が出ており一日も早く平和が訪れる事を祈るばかり。

志岐の忠魂碑の側には掲揚台が建設されている。現場を確認し我が国の国旗の掲揚がスムーズにいくように補修すべき。

水面埋め立て許可が下り今後工事に着手される。



英 雅 浜口 議員

(二)人口減少への対応と検証
熊本県の施策

浜口 熊本県は熊本県新広域道路交通計画を策定しこの中に我々天草島民が苓北町民がのどから手を出したい計画案が、地域や拠点間を連絡する道路ネットワークの形成いわゆる90分構想。今年早々に能登半島地震が発生し、被害の大きな原因の一つに、避難路、救援路が不十分であったとされている。地域の活性化振興のためには単独でなく隣接する仲間との連携が大事。そのためには一刻も早い90分構想の実現が絶対。

町長 熊本天草幹線道路の全線開通に向けて要望活動に積極的に取り組んでいる。

浜口 先の議会でも提起した富岡西海岸の富岡港から円通寺下交差点までの間道路幅員は若干狭い。389号線の萱の木地区も道路幅員が狭い区域がある。

町長 324号線の拡幅は今後も引き続き要望を行う。389号線は3月に公有

合併処理浄化槽に係る下水道使用料について

合併処理浄化槽の下水道使用料について、令和6年度から人槽区分による定額制から水道使用量を基準とした従量制に改正されたが、合併処理浄化槽を設置している419世帯の令和6年5月分(旧制度)と6月分(新制度)請求金額を比較すると、高くなった120世帯(28.6%)、変わらなかった26世帯(6.2%)、安くなった256世帯(61.1%)となっている。うち70歳以上の高齢者減免世帯106世帯は、高くなった31世帯(29.2%)、変わらなかった2世帯(1.9%)、安くなった73世帯(68.9%)となっている。従前の合併処理浄化槽の使用料は、設置工事費と維持管理費をもとに算定し定額制としていたもの。下水道使用料の平等で公平な料金とするためには、合併処理浄化槽世帯に対する特例措置を設け、従前の人槽区分ごとの料金を上限とし、70歳以上の高齢世帯には上限額に従前の減免措置を講ずる取り扱いを導入すべきと思うが町長の考えを問う。

町長 今回の改正は、世帯人員の減少により人槽区分ごとの使用料算定は不平等ではないかとの御意見が多くあり、すべての下水道に係る事業を平等で公平な料金体制としたもの



生 利 山口 議員

でありご理解頂きたい。

再質問 下水道使用料が高くなった世帯の6月分から9月分までの使用料の増加金額は約94万円、県内市町村で合併処理浄化槽の使用料を上水道の使用量に依りて算定するのは苓北町だけのこと。今回の条例改正で下水道使用料が高くなった世帯は過重な料金負担を強いられているので使用料算定の再見直しを早急に検討されたい。

問① 東京陳情と今後の対応について
 田崎 本年8月2日、熊本県選出の国会議員に対し陳情活動を行い、苓北町の課題に対する国への要望書を提出した。



田崎 健 議員

主な内容としては

1. 食料・農業・農村対策
2. 国土強靱化対策
3. 過疎振興策
4. 半島振興施策

特に、今回は、坂本農水大臣に面会できる機会を作ったこと、私たちが議員も直接、色々な課題に対する気持ちや意見を伝えることが出来たと思っております。

私は、現在の我が町の農林水産業の実状を訴え、経営の安定化、所得の確保が急務であること、そのためには、生産物に対する合理的な価格形成における早急な制度化をお願いしたが、基本法整備後の価格転嫁の実現までは、時間がかかるような返答だった。

町長の見解は。

町長 本年5月に成立した「食料、農業、農村基本計画」改正に向けた8月29日に、農業関係者や有識者等で構成される審議会で、具体的に議論され、来年の3月に答申し、閣議決定を目指すとのこと。このため基本法を実行に移すまでには、しばらく時間が必要だと考える。

田崎 政府の予定としては、来年の通常国会での成立を目指すとのことだが、制度が実働するまで、現場が持つかどうか心配だ。

そこで、農畜産物の価格安定基準の見直しを早急に強く働きかけていく必要があると考える。この制度は、国・県の事業なので熊本県に陳情して、国に働

きかけてもらってはどうか

町長 苓北町としては、今の補助制度を拡大する要請は、続けていく必要があると考えているので、熊本県に対する要望も、農業団体、漁業団体、その他の団体も含め、どういう形で行えるのかを検討していきたい。

田崎 これ以上、廃業者が出ないよう、国・県の補助制度を利用し、苓北町の支援・助成を強くお願いしたい。

町長 状況は、充分理解しているので、来年度の予算に反映していく。

問② スポーツの交流人口の拡大に向けて
 スポーツ大会や合宿、練習試合での町内の宿泊状況の表情と今後の対応について

田崎 本年も色々なスポーツ大会が天草市を中心に開催され、我が町にも多くのチームが訪れているが、町内には宿泊施設が少ないのか、試合と練習は、苓北町で、泊まりは、天草市というチームがあったと聞いているが、大変もったいないと思う。

実情と今後の対応は。

町長 実情としては、サッカーチームが4月に2、7月に10、8月に4チームが天草市に宿泊されている。宿泊施設の充実、以前からの課題であり、充実に向けて今後も努力していく。

田崎 若い関係者の皆と話し合いをもつたらどうか。いろんなアイデアをもっている人がいると思うが。

町長 検討して参る。

一 苓北町公共工事について

我々の願いは安心して住める町が最大の望みだが、子供や孫達に、負担が伴わない町づくりを大きく願っている。

① 公共工事には、金をかけるときりがない。 これまで、起債（借金）頼りが多かったが、これまでの行政経験を生かし、国庫補助、県補助金の活用した行政を、切に願う。

回答 国庫の補助事業を最優先に、財源の確保を図り、事業に当たっていく
② 町道、町河川、漁港、港湾、海岸保全の管理体制を強化され、災害発生時、災害箇所の把握、危険箇所の点検を重点的に実施され、災害復旧工事等の積極的な取り組みにより、町内建設業者の保護育成と、町内経済の活性化に力を入れて頂きたい。

回答 災害箇所の発見、把握の精度を高め、災害復旧に努めていく。
③ 町では、かなりの予算が投入され、企業の誘致に力を入れている。町内企業への育成、支援を望むが町としてどのように考えか。

回答 災害箇所の見回り強化と併せて、苓北町の土木、建設関係業者の支援を図っていく。

二 津波、高潮対策について

東日本大震災から十二年、死者一五、九〇〇人行方不明者二、五二五人。津波による甚大な被害をもたらしたことは、記憶に新しい。



松本 良人 議員

今年の八月八日、日向灘を震源とした地震は、八月二〇日現在二四回発生し、茨城県北部においても八月十九日地震が発生し、南海トラフの可能性が示唆されている。

七月二四日、一時五分富岡半島沖合を震源とした地震が発生している。

東日本大震災を期に、地震と津波の対策には多額の国家予算が投入され、海岸、国道の高潮、津波対策は完了している。しかし町内には県河川、町河川があるが河口域の護岸は海岸の護岸より低く、高潮、津波対策は取られていない。

特に都呂々港湾の出入口は、大潮には、物揚場まで水位が上がり、水が陸域にまで達し通行を妨げる。

津波に巻き込まれた場合、津波浸水30cm以上で死亡者が発生し、1mの津波に巻き込まれると死亡率はほぼ100%といわれている。

今後の対策について尋ねる。

回答 現在、河川の河口域は津波から防護する設計は行われていない。対策には膨大な費用が必要であり「避難場所など高台に避難し人命を守る」ソフト対策をしているのが現状。
 都呂々港入り口は、恒久的な形で工法や財源の確保等を検討中。

質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載しています。

① 新ごみ焼却場建設計画についての提案
② 町有機材利用の提案について



田崎 健 議員

問① 天草広域連合の「新ごみ処理施設整備計画」の契約が解除されたのは、DBO方式による契約に伴う焼却灰等の資源化がネックとなり、契約解除の原因となったのではないかと。

町長 入札手続き等については、適正に行われたものと考えているが、長期的に焼却灰等の資源化施設を確保していく事項については、今後も厳しいのではないかと考える。

問② 我が町にも焼却灰資源化の技術と施設を持った企業があるが利用できないか。また、使用されていない工業団地にマテリアルリサイクル施設の企業を誘致してみてはどうか。

町長 当該企業に伺ったところ、ごみ処理後の焼却灰のリサイクルは不可能でコストもかかる。産業廃棄物中間処理施設としてなら今の設備で可能だが、新たな許可が必要とのことである。天草広域連合において議論していく中で、これらの情報は伝達してまいります。

問③ 天草島内での最終処分場確保を検討していかなければならない。重要課題ではないか。

町長 天草島内での最終処分場確保についても、今回の結果を踏まえ、天草広域連合の中でも大きな課題と

して、取り上げられるものと認識している。

問④ 苓北町町民総合センターの体育センター1階ロビーに、1年近く放置されている大型冷風機が10台あるが、災害時の避難所での利用を目的としているのであれば、災害が起きる前に各避難所で保管しておくべきではないか。

町長 体育センターでの使用を想定しており、運転確認と冷房効果も確認している。

問⑤ 各避難所の電圧の確認や、停電時の電源確保等は確認してあるのか。

町長 改めて施設ごとに使用確認を行い、災害に備えた防災対策の充実に努めてまいります。

問⑥ 体育センター使用時に、熱中症対策で大型冷風機の利用はできないか。

町長 利用は可能であるが、今後、利用目的等を含めた規定等の整理を行ってまいります。

※DBO方式
 行政が国の交付金や公債等を活用し、施設建設資金を低金利で調達し、民間事業者が施設の設計・建設・運営を一括で委ねる方式。

議会活性化等検討特別委員会

期日：8月7日(水) 第1・2委員会室

(1) 苓北町議会へのご意見箱設置について

経緯

令和5年6月定例議会一般質問をかわきりとして数回にわたり、この案件について質疑が行われてきた。令和6年6月議会後に於いて、苓北町公式のホームページ上に「ご意見箱を設置する検討に入った。よって今回の議題となった。」

協議の結果

・多数決によって設置することと決定した。

(2) ハラスメントに関する職員アンケートについて

経緯

選挙で選ばれて公職に就いている自治体議員に今、「良識の人」としての自覚が求められている。

法令を守ることはもちろん、社会人として道徳や倫理観も大切であると指針がなされている。よって今回の議題となった。

協議の結果

・全員賛成により、役場の全職員（再任用職員・会計年度任用職員含む）に対してアンケートを実施する。





町花「はまゆう」

議 会 日 誌

※主なものを載せています

(7月22日以降分)



町木「ツバキ」

7月

25日 総務文教厚生常任委員会

8月

- 2日 熊本県選出国會議員への要望活動
- 6日 建設経済環境常任委員会
- 7日 議会活性化等検討特別委員会
- 21日 総務文教厚生常任委員会
- 28日 議会運営委員会

9月

- 9日・10日・11日・18日 令和6年第4回議会定例会
- 12日・13日・17日 令和5年度苓北町一般会計・特別会計歳入歳出決算審査特別委員会
- 18日 議会広報特別委員会

10月

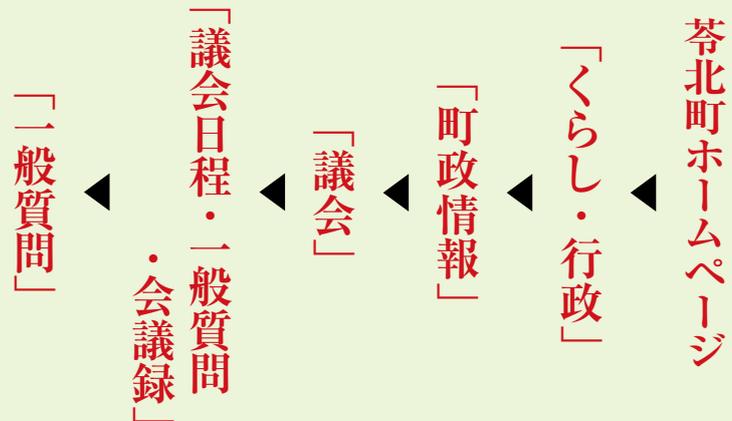
- 2日・7日 議会広報特別委員会
- 9日 町村議會議員オンライン研修
議会広報特別委員会

次の定例会は
12月
です。

9月定例会の傍聴者は、
36人でした。

会議録は、右記「議会日程・結果」内の
「会議録・議事録」で閲覧できます。

“定例議会の一般質問が
インターネットで聞けます”



上記の順で開いて行くと一般質問の様子が録音放送にて聞けます。
(苓北町ホームページがリニューアルされました。)

編集後記

1月1日に発生した地震で甚大な被害を受けた石川県能登半島に、9月21日記録的な豪雨で河川の氾濫・土石流などによる人的被害、家屋倒壊・流失、浸水など、甚大な被害が再び発生した。また、地震での避難生活から仮設住宅に入居された方は、復興に向けて踏み出そうと言う矢先の豪雨で、床上浸水により再度被災されました。

被災者へのお見舞いと、亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、早期復旧を願うものです。防災対策の難しさを思い知らされたものです。教訓を生かした、防災対策が求められます。

9月議会では、「令和5年度決算審査」も行われ、予算が適正に執行されたかどうかを審査するとともに、行政効果や経済効果を測定し、住民に代わって評価する、重要な意義がある。決算を認定し、意見書を提出した。令和7年度の予算に生かされるよう望むものである。

国政では10月1日、石破茂首相が誕生し、新内閣が発足された。今後、予算編成、経済政策など諸々の施策がなされます。景気回復を願うものです。

議会広報特別委員会